

第Ⅰ学年

教科別授業概要（シラバス）

今年度の授業の計画と内容

令和7年度

京都市立七条中学校

令和7年度 年間学習指導計画 1組

☆學習目標

- ① コミュニケーション能力を高め、自他を尊重する心を身につける。
 - ② 社会的生活における自立へのつなぎとなる学習の基礎基本を身につける。
 - ③ 個々の実態に応じたその場その場に応じた課題設定と課題解決に向けた力をつける。

☆学習を進めるにあたって

使用教材	星本教科書、一般図書、検定本、配布したプリント、その他	持ち物	筆記用具、ファイル 教科に応じた準備物
学習の進め方	1, 一斉授業の中で、必要に応じて声かけをする。 2, グループ別学習による、発達別・課題別による		

☆学習内容について(通年制)

第1学年 国語科の学習

☆ 学習目標～国語の学習で“めざす”こと

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、日本の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになろう。文字に対して関心を持ち、字形を整え、文字の大きさや配列などを理解して、楷書や行書で書くことができるようになろう。（知識・技能）
- (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようになろう。目的や場面に応じて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す能力、内容を捉えながら聞く能力を身に付けていく。目的や意図に応じて、根拠を明確にしながら構成を考えて的確に書く能力を身に付けていく。様々な文章を読み、構成や展開、表現から内容や要旨を的確に捉える能力を身に付けるとともに、読書を通して言葉に触れ、ものの見方や考え方を広げていけるようにしよう。（思考・判断・表現）
- (3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、日本の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を培おう。授業に意欲的に参加し、何事も積極的に取り組む姿勢を継続していく。（主体的に学習に取り組む態度）

☆ 学習を進めるに当たって

教 材	教科書 国語1 [光村図書]	持 ち 物	・教科書
	副読本 あかねこ漢字スキル [光村教育図書]		・ノート ・ファイル ・あかねこ漢字スキル [光村教育図書]
教 科 書	書写 [光村図書]		・書写（教科書・習字道具）
《確かな学力を身につけよう》			○漢字練習ノートの活用、漢字小テストの実施を通して、漢字と語彙力を定着させていく。
○授業のめあて・目標を確認し、学習課題を捉え、読解、思考、発表、意見交流、メモを取る等の活動を通して、自分の力を伸ばしていく。			○授業や単元の終わりに、学んだことや考えたこと等を書いて振り返ることで、理解を深めていく。
○OG I G A端末を使い、情報の収集、作成したレポートの保存や交流等を通して学習を深めていく。			《家庭学習》
○予習・・・読めない漢字、意味の分からない語句に印をつけながら、教科書を繰り返し音読しよう。 意味の分からない語句の意味調べをしておこう。			○予習・・・読めない漢字、意味の分からない語句に印をつけながら、教科書を繰り返し音読しよう。 意味の分からない語句の意味調べをしておこう。
○復習・・・授業のノートを見返し、1時間の授業の流れを振り返ろう。			○復習・・・授業のノートを見返し、1時間の授業の流れを振り返ろう。
○週間課題・・・様々な種類の課題に取り組み、語彙力や言葉から想像を広げる力をつけよう。			○週間課題・・・様々な種類の課題に取り組み、語彙力や言葉から想像を広げる力をつけよう。
《定期テスト》			《定期テスト》
○漢字の読み書きは完璧にしておこう。語句の意味、文法などを徹底的に覚えよう。			○漢字の読み書きは完璧にしておこう。語句の意味、文法などを徹底的に覚えよう。
○授業で取り組んだプリントやノートを見返し、課題に対する考え方を答えられるようにしておこう。			○授業で取り組んだプリントやノートを見返し、課題に対する考え方を答えられるようにしておこう。
○教科書本文は、どこに何が書いてあるかさっとわかるようになるくらいまで熟読しよう。			○教科書本文は、どこに何が書いてあるかさっとわかるようになるくらいまで熟読しよう。
学 習 の 進 め 方	○授業中は、よく話し、よく聞き、よく読み、よく書き、前向きな意欲をもって取り組もう。		
	○自分の意見をもち、積極的に発表しよう。意見交流を活発に行い、自分の考えを発表するとともに、友人の考え方を取り入れて、自分の考え方をさらに深めよう。		
	○ノートは黒板を写すだけでなく、先生の説明や発言内容、友人の意見、調べたこと、疑問に思ったこと、気づいたことなども書いておこう。自分にとっての「宝物」になるようなものを！		
	○課題や提出物は期限を守ろう。		

☆ 学習内容及び評価について

		評価に当たって		
月	単元計画	試験	評価観点	評価場面・方法
4	言葉に出会うために 朝のリレー 野原はうたう 学びをひらく はじまりの風 話の構成を工夫しよう 漢字◇ 漢字の組み立てと部首 新しい視点で ダイコンは大きな根？ ちょっと立ち止まって	知 識 ・ 技 能	○音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 ○漢字を適切に読んだり書いたりして、文や文章で使っている。 ○事象や行為、心情を表す語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 ○単語の類別、比喩や反復などの表現の技法を理解している。 ○文語のきまりや訓読の仕方を知り、古典の世界に親しんでいる。 ○字形を整え、大きさや配列などについて理解して楷書で書いたり、行書の基礎的な書き方を理解して書いたりしている。	●発表 ●言語についての問題 ●書写の作品 ●定期テスト
5	言葉◇ 指示語・接続語 情報を整理して説明しよう 言葉に立ち止まる 空の詩 三編 比喩で広がる言葉の世界 文法への扉◇ 言葉のまとめ 読書生活を豊かに 読書案内 心の動き	1	○話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて自分の考えをまとめていく。	●発表 ●意見交流や授業での発言 ●プリントやノートの内容 ●パフォーマンステスト ●読解問題 ●定期テスト
6	大人になれなかった弟たちに 星の花が降るころに 言葉◇ 方言と共に語 漢字◇ 漢字の音訓 筋道を立て	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	○書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考え、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 ○内容や要旨を的確に捉えている。 ○描写を基に場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて捉えている。	●発表 ●意見交流や授業での発言 ●プリントやノートの内容 ●パフォーマンステスト ●読解問題 ●定期テスト
7	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ 根拠を明確にして書こう いにしえの心にふれる いろは歌 蓬莱の玉の枝 今に生きる言葉 価値を見いだす 「不便」の価値を見つめ直す	2	○言葉がもつ価値に気付き、漢字を適切に使い、語句や表現に注意して、文章を読んだり書いたりしようとしている。 ○進んで読書をしようとしている。	●授業に取り組む姿勢（観察） ●プリントやノートの内容 ●課題や宿題等の提出物 ●定期テスト
8	文法への扉◇ 言葉の関係 読書に親しむ 研究の現場にようこと	3	○日本語文化を大切にして、自分の思いや考えを伝え合おうとしている。	
9	自分を見つめる 少年の日の思い出 文法への扉◇ 単語の性質 言葉◇ さまざまな表現方法 漢字◇ 漢字の成り立ち 一年間の学びを振り返ろう	4		

第1学年社会の学習

☆ 学習目標～社会の学習で“めざす”こと

- 社会的事象に関する諸資料から有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。
(資料活用の技能)
- 社会的事象から課題を見いだし、社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的、多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。(社会的な思考・判断・表現)
- 社会的事象についてよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う
(主体的に学習に取り組む態度)

☆ 学習を進めるに当たって

教 材	教科書 地理 「地理的分野」帝国書院 歴史 「歴史的分野」帝国書院 地図帳 帝国書院	持 ち 物	教科書 ファイル 地図帳 ノート
《確かな学力を身につけよう》 <ul style="list-style-type: none"> ○授業を前向きな姿勢で集中して受けることができるようにしておこう。 ○目標を持って授業に参加しよう。 ○発問に対して、積極的に考えてみよう。 ○作業を丁寧に行い、資料を使いこなせるようにしておこう。 ○積極的に話し合いに参加し、自分の意見が言えるようにしておこう。 ○学習した内容を全体で発表できるように、日頃からまとめておこう。 《家庭学習》 ○復習を大切にし、授業でやった内容を家庭で確認しておこう。 ○授業でとった板書内容やメモを整理しておこう。 ○新聞を読み、ニュースなどを見る習慣をつけよう。 ○教科書を必ず開き、内容を声に出して読んでみよう。 			
《定期テスト》 <ul style="list-style-type: none"> ○基礎的な内容や意味をまとめて理解しておこう。 ○授業中で行った内容をしっかりとまとめ、確認しておこう。 ○グラフや表などの資料が読み取れ、地図を使いこなせるようにしておこう。 ○時間内で解答できるように、時間を意識して解答に挑戦しよう。 			
○持ち物を忘れずに持ってくるようにしましょう。 ○先生や友達が話した内容などのメモがとれるように日頃から意識して授業にのぞもう。 ○聞くとき、話し合うとき、意見を言うとき、考えるときなど、その場に応じて学習に参加しよう。 ○授業に集中するために大切なことは何かを日頃から考え、日々の生活をしっかりしよう。			

☆ 学習内容及び評価について

学習計画		評価に当たって		
月	単元計画	試験	評価観点	評価場面・方法
4	【地理】 世界のさまざまな地域 ・世界の姿 ・世界各地の人々の生活と環境 ・世界の諸地域	知 識 ・技 能	・基本的な語句や内容を理解している。 ・基本的な語句や内容を知識として身につけている。	・学習観察 ・定期テスト ・単元テストなど
5	1 ヨーロッパ州			
6	2 アフリカ州			
7	3 北アメリカ州	思 考 ・判 断 ・表 現	・発問や質問に対して、しっかり答えている。 ・発問や質問に対して、正しい判断をしている。 ・自分の答えをはっきり示している。	・学習観察 ・ワークシート ・定期テスト ・単元テスト ・課題など
8	【地理】 4 南アメリカ州			
9	5 オセアニア州			
10	6 アジア州 【歴史】 古代までの日本			
11	・人類の始まりと文明 ・国家の形成 ・古代国家の展開		・今まで学んだことを自分なりに理解して、授業中の発言に活かすことができる。	・学習のふりかえり ・ワークシート
12	中世の日本 ・鎌倉幕府の成立 ・元の襲来と鎌倉幕府	主 体 的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度	・単元のふりかえりやワークシートの記述、定期テスト等で、学習を振り返り、さらに調べたいことやよく分からなかったことを整理し、これから学習に意欲的に取り組もうとしている。	
1	・元の襲来と鎌倉幕府 ・元の襲来と鎌倉幕府のおとろえ			
2	・室町幕府と下剋上			
3	・中世の文化			

第1学年 数学の学習

(1) (知識・技能)
数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解すると共に、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につける。
(2) (思考・判断・表現)
数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見出し統合的に・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

(3) (主体的に学習に取り組む態度)
数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に活かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

★ 学習目標～数学の学習で“めざす”こと

★ 学習を進めるに当たって

教材	教科書 未来へ広がる数学1（啓林館） 副教材 数学の問題ノート1	持物	・教科書 ・ノート ・数学ファイル ・筆記用具・定規（必要に応じてコンパス）
《確かな学力を身につけよう》			
○ 計算問題を反復練習し、早く正確に解く力ををつけよう。 ○ わからない問題でもあきらめずに取り組もう。 ☆ 途中式をしっかり書くなど、考え方の過程を大切にし、表現する力をつけよう。			
《家庭学習》			
○ 授業で学習した内容を、問題集を利用して家庭学習を進めよう。 ○ 授業中に間違えた問題を途中式から考えてみよう。 ○ 不得意な範囲の問題は、教科書の例題からやり直してみよう。			
《定期テスト・単元テスト》			
○ テスト勉強は ① 基本の確かめ ② 教科書の例題、問、練習問題 ③ 問題集での学習 ④ 問題集の章末問題 の順番で取り組もう。			
○ 授業で解いた問題は分かるまで反復練習しよう。			
学習の留意点	○ ノートを写すとき、必要に応じて色ペンを使おう。 ○ 先生の話や人の発表などは、メモやノートに書こう。 ○ わからない問題は必ずそのままにせず、まずは自分でじっくり考え、それでも分からぬ場合は、先生や友達に聞いて、必ず解決しておこう。 ○ 何度も何度も繰り返し問題を解くことで、習った知識を定着させよう。 ○ 問題を解くときは、途中の考え方も書くようにしよう。		

学習内容及び評価について

学習計画			評価に当たって	
月	単元計画	試験	評価観点	評価場面・方法
4	○ 正の数、負の数 ○ 正の数、負の数の計算	第1	○ 数学的な基礎知識の必要性と意味を考えようとしている。 ○ 事象を数学化したり、数学的に解釈したり数学的に表現・処理したりする技能が身についている。	●定期テスト ●単元テスト ●小テスト
5				
6	○ 素因数分解 ○ 文字の式 ○ 文字式の計算	第2		
7				
8				
9	○ 方程式 ○ 方程式の利用	第3	○ 数学的な思考力・判断力を身につけ、事象に潜む関係や法則を見出し、数学的な推論の方法を用いて論理的に考察する。	●定期テスト ●単元テスト
10	○ 関数 ○ 比例 ○ 反比例			
11	○ 比例、反比例の利用 ○ 直線図形と移動 ○ 基本の作図	第4		
12	○ 円とおうぎ形		○ 自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとしている。	●小テスト ●課題
1	○ 立体と空間図形 ○ 立体の表面積と体積		○ 数学の良さを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしている。	●ノートにおける、主体的な学びに関する記述内容
2	○ 資料の活用		○ 問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしている。	
3	○ データに基づく確率	第5		

第1学年 理科の学習

(1) (知識・技能)
自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようとする。
(2) (思考・判断・表現)
観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
(3) (主体的に学習に取り組む態度)
自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

☆ 学習目標～理科の学習で“めざす”こと

教 材	教科書 未来へひろがるサイエンス1 啓林館 副読本 理科の完全学習 正進社	持 物	教科書 筆記用具 ファイル 理科の完全学習（適宜支持をする。）
《確かな学力を身につけよう》			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 自然のさまざまな現象に興味・関心を持とう。 ○ 学習の目標をとらえ授業は真剣に取り組もう。 ○ ワークシートや観察・実験レポートはわかりやすく工夫して書こう。 ○ わからないところは、自分で調べたり、誰かに質問したりして、必ず解決しよう。 			
<p>★ 実験や観察の結果をもとに、理由や根拠をはっきりさせ、考察をしよう。</p>			
《家庭学習》			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時のまとめと復習ノートはその日のうちに、教科書と授業プリントでもう一度見直そう。 (わからないところはそのままにしないでどんどん質問しよう。) ○ 理科の完全学習を使って、問題演習にどんどん挑戦しよう。 (同じ問題を繰り返し取り組むことで、理解が深まります。) 			
《定期テスト》			
<ul style="list-style-type: none"> ○ テスト範囲は、テスト一週間前には通知します。 ○ 理科の完全学習、配布したプリントの問題に取り組もう。<u>最低2回やると効果的です。</u> ○ 予習ノートで語句などの確認をしよう。 ○ 学習確認プログラムの学習計画を立て、しっかり勉強しましょう。 			
○教科書、ノートは必ず授業が始まる前に用意しておこう。 ○忘れ物をしないように、しっかり授業の準備をしよう。 ○理科室への移動はチャイムの鳴る前に完了しておこう。 ○授業は真剣に、集中して、積極的に取り組もう。 ○先生や発表者の話をしっかりと聴こう。 ○自分の考えをまとめ、他者を意識してわかりやすく発表しよう。 ○実験によっては危険な薬品を使うことがあります。また、ガラス器具も使います。 先生の指示がある前から器具にふれないこと。また、実験中もふざけないこと。 実験を安全に行うために必ず守りましょう。			

☆ 学習を進めるに当たって

学習内容及び評価について

学習計画		評価に当たって		
月	単元計画	試験	評価観点	評価場面・方法
4	自然の中にある生命	知識・技能	○観察や実験の方法を正しく身につけているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●定期テスト ●小テスト ●ワークシート ●単元末課題（レポート課題）
5	いろいろな生物とその共通点 1章 植物の特徴と分類 2章 動物の特徴と分類		○図やグラフを工夫して作成することができたか。	
6	身のまわりの物質		○自然に関するいろいろな用語の意味や観察・実験の方法などを正しく理解し、確実な知識として身につけ、適切に活用することができたか。	
7	1章 いろいろな物質とその性質 2章 いろいろな気体とその性質 3章 水溶液の性質 4章 物質のすがたとその変化		○知識に関する問題を解くことができたか。	
8			○観察や実験のレポートをわかりやすく工夫して書くことができたか。	
9			○観察や実験からわかることに関する問題を解くことができたか。	
10				
11	光・音・力による現象 1章 光による現象 2章 音による現象 3章 力による現象			
12				
1	生きている地球 1章 身近な大地	主体的に学習に取り組む態度	○自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト ●ワークシート ●提出物（理科の完全学習） ●単元末課題（レポート）
2	2章 ゆれる大地 3章 火をふく大地 4章 語る大地		○学習した内容を既習事項や身近な自然現象と関連させて自分の考えとしてまとめることができるか。	
3				

令和7年度 第1学年 音楽の学習

☆ 学習目標～音楽の学習で“めざす”こと

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。					
(1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。					
(2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てる。					
(3) 多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。					

☆ 学習を進めるに当たって

教材	中学生の音楽1 プリント 中学生の器楽	持物	教科書2冊 ファイル GIGA 端末	筆記用具 アルトリコーダー
学習の進め方	「歌唱」「器楽」「鑑賞」「創作」を通じ、上記の学習目標の達成に向けた授業を行う			<ul style="list-style-type: none"> 学習目標（めあて）を理解して取り組もう <p>(例) 鑑賞【魔王】めあて『詩の内容と曲想の関わりを感じ取ろう』 ストーリーのある歌曲を鑑賞し、詩の内容が曲想の変化とどの様に関わっているのかを考え、自らの言葉で表現する。（思考・判断・表現）</p> <p>歌唱【浜辺の歌】めあて『情景を想像し、伴奏が作り出す雰囲気を味わいながら歌おう』 伴奏がどんな情景を表現しているのか感じ取り（思考・判断）ふさわしい発声、発音で歌う（技能・表現）</p> <p>リコーダー【聖者の行進】めあて『アーティキュレーションの工夫をしよう』 アーティキュレーション（音の繋ぎ方や切り方）を工夫することによって表現がどの様に変化するか感受し（判断）より良い表現を考えて演奏する（思考・技能）</p> 鑑賞においては感受したことを言葉で表せる力が必要である。また、表現（歌唱・器楽・創作）においても漠然とした感覚ではなく、感受したことを明確に自覚するために言葉に出来ることは大切である。沢山の語彙を持つことを心がけよう。聞き方のヒント、というプリントを配布することで活用すること。 《テスト》 実技テスト授業時間内に行う。 筆記テストは年2～3回行う。 聴き取りテストを実施する。（授業内で行う）
学習の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 音楽は<u>実技</u>を伴う教科です。実技のテスト、取り組む姿勢をとても重視します。 苦手意識のある人も真摯に取り組むようにしてください。筆記テストの点が良かった＝良い成績がつくとは限りません。実技、課題プリント、筆記テスト、授業に取り組む姿勢・態度の全てが評価の対象となります。 単元ごとに課題のプリントを渡します。ファイルに綴じ、提出期限までに必ず提出しましょう。 音楽の授業は様々な音楽に触れることで感性を豊かにし、生活や社会の中の音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育む機会であると捉えましょう。 			

☆ 学習内容及び評価について

学習計画			評価に当たって		
月	単元計画	試験	評価観点		評価場面・方法
4	・オリエンテーション 校歌 ・春	観察 ペーパー	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 発声、発音、身体の使い方などの技能があること 全体の響きや各声部の声などを聞きながら他者と合わせて歌う技術があること 音楽の要素、記号、音楽用語などの知識があること 音楽を作っている要素や音楽の構造の知識があること 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術とのかかわりに関する知識があること 	授業の様子 ワーク 定期テスト 実技テスト 聴取テスト
5	・作曲	ワーク 課題			
6	・合唱の取り組み	観察			
7		実技 ぶりかえり			
8					
9					
10	・魔王 ・浜辺の歌	ペーパー 実技			
11	赤とんぼ	実技 実技 実技 課題			
12	・世界の民族音楽 ・アルトリコーダー	課題 アレゾン 実技			
1	・箏 ・六段の調 ・日本の民謡 ・雅楽	実技			
2	・卒業シーズンの歌	課題 ペーパー			
3		実技 観察			

第1学年 美術科の学習

★ 学習目標 ~美術の学習で“めざす”こと

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようになろう。(知識・技能)
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようになろう。(思考・判断・表現)
- (3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情や心豊かな生活を創造していく態度を培おう。(主体的に学習に取り組む態度)

★ 学習を進めるに当たって

教材	教科書 美術1（光村図書） 副読本 美術資料 京の美	持物	・教科書・副読本・ファイル・筆記用具・ポスターカラー一セット・その他指示された準備物
《確かな学力を身につけよう》			
☆ 年間目標→根気（物事にじっくり取り組み、最後まであきらめずに完成して提出する。）			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題の目標、説明は、作品例・動画・パワーポイントで行い、学習プリントや下絵の用紙をファイルにはさむことで進めていく。 ○ 学習目標を理解して、創造活動（表現・鑑賞）に取り組もう。 ○ 学んできた知識や技能を活用し、試行錯誤を繰り返してあきらめずに取り組めるようにする。 ○ 授業では、発想構想を重視する。著作権を常に意識し、オリジナルの作品が創れるようにする。 ○ GIGA端末も活用していこう。《家庭学習》 ○ 授業で学習したことを探り返って、次の授業につながることを準備しよう。 ○ 日々の生活の中で感じとったことや考えたことを自分の感覚で自由に表現していく中で、自分の夢や憧れに近づける感性を磨いていこう。 ○ 身のまわりのものに美しさや使いやすさを感じたり考えたりして、形や色の持つ意味を考えて、自分で評価したり選んだりできるようになろう。 ○ 五感（視覚・触覚・味覚・嗅覚・聴覚）を意識して、身边に見る自然や風景などに親しむ機会を多くもとう。 			
<p>《定期テスト》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ テスト前に配布する学習プリントから全て出題する。テスト前に学習の時間もとるので、わからないことはその場で質問しよう。実技問題は当日あたふたしないように、あらかじめ学習プリントで練習する。当日、まったく同じ問題が出るので、時間内に表現できるようにしよう。 ○ 毎時間、授業の振り返りをしておこう。 			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学期に一度、ファイル提出をする。この内容で、主体的な学びの評価をするので、配布したプリント類を、美しく整理してファイリングするようにしよう。 ○ 本鈴前に、必要な用具類、作品などを自分の席に用意しておこう。 ○ 普段の準備物は教科書、美術資料 京の美、筆記用具だけですが、ポスターカラー一セットや制作のための準備物など必要な場合は事前に連絡する。 ○ 制作は授業時間内に完成させる。もしできそうになれば、早めに相談する。具体的表現方法を伝える。発想のヒントや役に立つ資料は、放課後や家庭でも見つかる。授業以外でも思考する習慣をつけましょう。 			

★ 学習内容及び評価について

学習計画			評価に当たって	
月	単元計画	試験	評価観点	評価場面・方法
4	鑑賞 生活の中の形と色 対話型 形 コーヒーカップとティーカップの違い 色 白衣はなぜ白いのか。外科医はなぜ手術着が緑や青なのか	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ○『コーヒーカップとティーカップの違い。白衣はなぜ白いのか。外科医はなぜ手術着が緑や青なのか。』について、使用目的から必然的に生まれた形と色について、その内容を理解することができる。 ○最近なものから愛着のある色を見つけ出す。色に着目し、生活や社会と豊かに関わるために、最近の環境を見渡し、愛着のあるものを再確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●対話 ●発言やメモ ●技能 ●作品 ●定期テスト ●ワークシート ●レポート ●振り返り自己評価 ●ロイロノート
5	表現 七っ子絵の具 制作 わたしのこころ色 詩と水彩画	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ○白影板八角鏡額の制作手順、木影の特性や技法を理解して、4本の彫刻刀の彫りの効果を生かしながら、作品を完成させることができる。 ○技法の効果を考えながら、表現や鑑賞に取り組み、その知識を得ることができる。 	
6	表現 三原色の森 制作 イエロー・シアン・マゼンタ（水彩）	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○生活の中の美術の役割について深く思考することができる。また、用途から生まれた形や、人の目の褐色像など、美術は教科横断的に、社会や数学、理科、国語、技術家庭科……など、様々なつながりがあることに気づき、思考することができる。 ○季節・天候・時間を設定し、感性や造形感覚を働かせて色彩の表し方を考えながら、筆使いを意図工夫して表現することができる。 ○構成や表現効果を考えながら、構想を練ることができる。作品の中で、効果的な彫りの効果を各部分で意識しながら、彫刻刀を使い分けて制作することができる。 ○鑑賞や実技の中で、豊かに発達し表現を他の組みながら、活動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●対話 ●発言やメモ ●構想や計画 ●作品 ●定期テスト ●ワークシート ●レポート ●振り返り自己評価 ●ロイロノート
7	表現 黒影板 時計 制作 レリーフ (半立体彫刻)			
11	表現 郷土の風景画 or 静物画 or 生物画 or 空想画 制作 水彩画			
12	鑑賞 若冲で遊ぶ 対話型 果蔬菜図・動植物絵			
10	表現 墨流しの幽霊 制作 墨汁マーブリングからオリジナルお化けをつくる	授業内テストに取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ○グループ鑑賞に主体的に取り組み、生活の中の美術の役割について、用途から生まれた形と色について、興味をもって楽しく推理しながら鑑賞を深め、形と色を意識しながら心豊かな生活を創造していくこうとする。 ○創造活動の喜びを味わい、表現や鑑賞の能力を身に付けるために、主体的に学習に取り組むことができる。 ○木影の特性に興味を持って、楽しみながら、忍耐強く制作できる。さらに、時間をかけて制作した作品をまで活用できる。 ○生活の中の美術の役割や技法を楽しみながら、主体的に学習に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●対話 ●発言やメモ ●テスト前学習プリント ●定期テスト ●作品 ●ワークシート ●レポート ●振り返り自己評価 ●ファイル提出
1				
2				
3				

第1学年 保健体育科の学習

★ 学習目標 ~保健体育科の学習で“めざす”こと

(1) 知識・技能
運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするために、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けよう。
(2) 思考・判断・表現
運動についての自己の課題を見出し、合理的な解決に向けて試行し判断するとともに、自己の考えたことを他者に伝えよう。
(3) 主体的に学習に取り組む態度
運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を身に付けよう。

★ 学習を進めるに当たって

教 材	・新しい保健体育（東京書籍） ・新版中学体育実技2023（Gakken） ・3年間の保健資料ノート（新学社）	持 物	必 携：教科書、ノート、学習カード、筆記用具、学校指定の体操服 必要に応じて：水筒、汗拭きタオル、水着、柔道着
《確かな学力を身につけよう》			
・知識を生かした運動技能の習得や知識を生かした生活行動、生活習慣の改善など、知識と実践を結び付けて理解すると同時に振り返りを大切にし、学んだことの価値を実感しよう。			
・学習カードやGIGA端末などを活用して学習の記録を振り返り、学び方を修正しよう。			
・独りよがりではなく、仲間と教え合い、ともに上達し、ともに楽しむことができる授業を目指そう。			
・自身の能力に応じて運動やスポーツに関わる方法を見つけ、実践しよう（する、みる、支える、知るなど）。			
・自他の安全を大切にし、用具の使用法や配置、片付け、運動をする際の方向や間隔、開始のタイミング、ルールの遵守など安全確保を常に意識しよう。			
・見学に際しては、話し合いに参加することや友達に助言をすること、審判をすること、授業内容をメモに残すことなど、できる限りで授業に参加し、学ぶ姿勢を大切にしよう。			
《GIGA端末の活用》			
・運動技能の習得に際して、運動の自己観察や他人観察の結果を有効に活用する手立てとして活用しよう。			
・課題解決に資する情報などを収集したり、比較したり、最適な解決方法を考えるために活用しよう。			
・身に付けた知識や技能を実生活に生かすための活用例を調べる際に活用しよう。			
《家庭学習》			
学習内容を実生活に生かしていくこう。例えば、運動、食事、休養・睡眠の調和のとれた生活のために自身の生活を改善することや、心身の機能の発育発達を促す運動を選択して取り組むこと、自分たちに合った運動やスポーツとの関わり方を実践することに取り組もう。遠足、レポートに実践状況をまとめよう。			
《定期テスト》			
授業で取り上げた内容について、それらの意味の理解にとどまらず、状況に応じて適切に活用できるかを確認しよう。また、授業で取り上げた内容を自身の生活の改善に適切に生かすことができているかを確認しよう。授業で配布したプリントや板書内容を中心に振り返ろう。			
学習の留意点			
・ペルと同時に授業を開始することができるように入浴や移動を済ませよう。			
・準備・片付けも授業に含まれることを理解し、全員が協力し、スピーディーに行おう。			
・健康上留意してほしいことを事前に教師に伝えるなど、自身の心身の安全確保に努めよう。			

★ 学習内容及び評価について

学習計画		評価に当たって			
月	単元計画	試験	評価観点	評価場面・方法	
6月	実施時期は調整中 集団行動 体つくり運動 陸上競技（短距離走、リレー） ダンス 水泳（クロール、平泳ぎ） 陸上競技（ハーネル、跳躍種目） ソフトボール 柔道 陸上競技（長距離走） サッカー バスケットボール 上記の中から時期を調整し実施。 ※保健「健康と環境」及び「健康な生活と疾病の予防③」は、各学期に適切なまとまりをもって配当する。また、体育理論（文化としてのスポーツの意義）は、各学期数時間程度ずつ配当する。		知識・技能 ・思考・判断・表現	学習した知識や技能を様々な場面に活用できるかたちで身に付けることができる。 《知識》 運動の特性、成り立、ルール／技術の名称／技術の行い方／伝統的な考え方（武道、ダンス）／その運動をすることで高まる体力／健康・安全の留意点／体育理論に関する内容 《技能》 基礎的な技能（個人、集団）／自分の能力や体力に応じた技能／自分や仲間、チームの課題を解決する助けとなる技能	【知識】 ・定期テスト ・ノート ・学習カード ・レポート 【技能】 ・実技テスト ・ブレイ中の様子 ・ロイロノート
11月			思考・判断・表現	身に付けた知識や技能を課題解決のために有効に活用している。 よりよく運動に取り組むために自分（や仲間）の課題を見つけている／見つけた課題を解決するために運動の取り組み方を工夫している／目的に応じて運動の組み合わせ方などを工夫している／課題の解決について自分や仲間が考えたことを伝えている	・定期テスト ・ノート ・学習カード ・レポート ・発言内容・学習への取り組み方
2月			主観的学習に取り組む態度	課題の解決に向けて、粘り強く試行錯誤しながら学習に取り組もうとしている。 《積極性・自主性》 その運動から得られる楽しさや喜びを捉え、それらを味わおうとしている／準備物や提出物の忘れない／準備・片付けに協力し、貢献しようとしている／「めあて」達成に向けた種々の学習活動に意欲的に参加し、貢献しようとしている 《協力・責任・共生》 自分が受け持った役割を果たそうとしている／教え合いや助け合いなどを大切にし、お互いに気持ちよく学びを深められるようにしようとしている 《公正》 ルールやマナー、フェアプレイを守ろうとしている 《健康・安全》 準備運動や整理運動を入念に行おうとしている／自分や仲間の体調の変化に気を配ろうとしている／用具の扱いや設置、運動する場所（間隔）など安全に気を配ろうとしている	・ノート ・学習カード ・レポート ・発言内容 ・学習への取り組み方

第1学年技術家庭科（家庭分野）

★ 学習目標～家庭科の学習で“めざす”こと

- (1) ・衣服と社会生活との関りについて理解するとともに目的に応じた着用、個性を生かす着用や衣服の選択について理解する。また衣服の計画的な活用や必要性について理解し、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについても理解し、製作する物に適した材料や縫い方について理解するとともに、製作ができる。（知識・理解）
健康による食習慣、栄養素の種類と働き、食品の栄養的な特質、中学生の1日に必要な食品の種類と概量、1日分の献立作成の方法について理解する。食品や用具の安全・衛生な使い方、材料に適した加熱調理の仕方について理解するとともに、それらに係る技能を身に付ける（知識・技能）
- (2) ・衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方や、環境に配慮した生活を豊かにする布を用いた製作計画について問題解決に向けた一連の活動について考察したことを論理的に表現する（思考・判断・表現）
・健康による食習慣、中学生の1日の献立、調理の仕方や調理計画について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。（思考・判断・表現）
- (3) ・衣服の選択と手入れや生活を豊かにするための布を用いた製作について、生活を工夫し創造し、実践しようとする（主体的に学習に取り組む態度）
・よりよい生活の実現に向けて、食事の役割、健康による食習慣、中学生に必要な栄養を満たす食事、日常食の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。（主体的に学習に取り組む態度）

★ 学習を進めるに当たって

教 材	教科書 ノート 授業配布プリント	持 物	・教科書・筆記用具 ・ファイルなど
《確かな学力を身につけよう》			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭科に興味を持ち、前向きな姿勢で授業が受けられることが最も大切です。 ○ 技術家庭科のテーマは自立と共生です。授業で学んだことを生活に生かしていきましょう。 ○ 製作・実習ではけががないよう十分に注意しましょう。 ○ 製作・実習は家庭科の楽しみでもあります。調理の楽しさを感じ、グループで協力しながら進めていきましょう。 <p>《家庭学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業で学習したことを、家庭等での生活の中で役立て実践しよう。 レポート課題や実践課題もあります。 <p>《定期テスト》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ノート、教科書、プリントをしっかり復習しておきましょう。 ○ ロイロノートに資料があれば、それも見ておきましょう。 ○ 授業中に行った作業の内容を確認しましょう。 ○ 授業で配布した学習プリント類は、ファイルに忘れず綴じておこう。 			
○ 授業の用意を忘れずに持ってきてましょう。ロッカーに置いておいてかまいません。 ○ 聞くとき、話し合うとき、意見を言うとき、考えるときなど、その場に応じて学習に参加しよう。 ○ 班の中で、一緒に考えたり協力したりして、良いものをみんなでつくりあげよう。 ○ 実習では手を動かし、感覚を磨くことも大切です。失敗を恐れず挑戦しましょう。 ○ 習ったことは、生活に役立つよう、つなげていけるようにしていこう。			

学習計画			評価に当たって		
月	単元計画	試験	評価観点		評価場面・方法
4	ガイダンス 衣生活	テ ス ト	・目的に応じた着用、衣服の適切な着用、個性を生かす着用について理解している。	・衣服の計画的な活用の必要性について理解している。	●ノート ●プリント ●小テスト ●定期テスト ●ロイロノート
5			・製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、製作が適切にできる。	・用具の安全な取り扱いについて理解しているとともに、適切にできる。	
6			・食事が果たす役割について理解している。	・中学生に必要な栄養について理解している。	
7			・健康による食習慣について理解している。	・栄養素の種類と働きについて理解している。	
8			・中学生の1日に必要な食品の種類と概要について理解している。	・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。	
9			・衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方や資源や環境に配慮し、生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画や生活を豊かにするために布を用いた物の製作について、考え方工夫し、問題解決に向けた一連の活動について考察したことを論理的に表現している	・栄養バランスの良い献立になるよう学習したことを生かして考え方工夫することができる。	●ノート ●プリント ●レポート ●ロイロノート ●定期テスト
10			・よりよい生活の実現にむけて、衣服の選択と手入れや生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善しようしたり、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	・よりよい生活の実現に向けて、食事の役割と中学生の栄養の特徴や中学生に必要な栄養を満たす食事、日常食の調理について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	●観察 ●ノート ●レポート ●プリント ●小テスト ●定期テスト
11	食生活				
12					
1					
2					
3					

第1学年 技術・家庭科（技術分野）の学習

★ 学習目標～技術・家庭科（技術分野）の学習で“めざす”こと

- (1) 生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技術を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解できるようになろう。（知識・技能）
- (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けよう。（思考・判断・表現）
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造していく態度を培おう。（主体的に学習に取り組む態度）

★ 学習を進めるに当たって

教材	教科書 新しい技術・家庭科 技術分野（東京書籍） 授業配布プリント	持物	・教科書・筆記用具 ・GIGA 端末 ・定規・ファイルなど
----	---	----	-------------------------------------

学習の進め方	<p>《確かな学力を身につけよう》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書や資料を使って学習する場面では、しっかりと聞きましょう。 ○ 授業を前向きな姿勢で集中して受けることができるようになります。 ○ 説明など聞いたことを、作業の中で生かしていきましょう。 ○ けががないよう十分に注意しましょう。【安全第一】 ○ 作品を必ず提出してもらいます。最後までやりきろう。 ○ GIGA 端末を使って、資料を探したり写真などを保存したりして理解を深めよう。 <p>《家庭学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業で学習したことを、家庭等での生活の中で役立て実践しよう。 ○ 日常で行っている行動の中に、技術で教わった学習を生かそう。 <p>《定期テスト》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習プリントを中心にしっかり復習しておきましょう。 ○ 授業中に行った作業の内容をしっかりと覚えておこう。 ○ 定期テスト対策プリントを上手に活かして学習していきましょう。 ○ 授業で配布した学習プリント類は、ファイルに忘れず綴じておこう。

留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 忘れ物・ベル着ができないと授業に支障が出ます。注意しましょう。 ○ 聴くとき、話し合うとき、意見を言うとき、考えるときなど、その場に応じて学習に参加しましょう。 ○ 班の中で、一緒に考えたり協力したりして、良いものをみんなでつくりあげよう。 ○ 作業をとおして、知識もしっかりと身につけよう。 ○ 作品の完成ではなく、問題解決が、第一目標です。必ずやりきろう。 ○ 習ったことは、生活に役立つよう、つなげていけるようにしていこう。

学習内容及び評価について

学習計画		評価に当たって		評価場面・方法
月	単元計画	試験	評価観点	
4	・技術分野のガイド	知識・技能 テスト 思考・判断・表現 主観的に学習に取り組む態度	○木材や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解している。 ○情報の原理・法則について理解している。	●授業プリント ●観察 ●製作品 ●定期テスト
5	・身の周りの材料と加工の技術 ・木材、金属、プラスチックの特性 ・丈夫な製品を作るために			
6	・材料に適した加工方法を知ろう。 ・製品を構想し、構想図を描こう。 ・等角図・正投影図・キャビネット図の書き方を知ろう。 ・3DCADによる設計			
7	・作業手順を考えて製作しよう		○材料と加工の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。	●授業プリント ●観察 ●製作品 ●定期テスト
8			○問題をみいだして課題を設定し、材料の選択や成形の方法などを構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。	
9			○情報の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。	
10			○主体的に材料と加工の技術について考えて、理解しようとしている。	●授業プリント ●観察 ●製作品 ●定期テスト
11			○主体的に情報の技術について考えて理解しようとしている。	
12				
1	・材料と加工の技術の最適化	主観的に学習に取り組む態度		
2	・情報の技術とは何だろう			
3	・情報のデジタル化 ・情報通信ネットワークの仕組み ・安全に利用するための情報セキュリティ ・情報の技術の工夫を読み取ろう			

第1学年 英語の学習

☆学習目標

(1) (知識・技能)

- ①英語の特徴や決まりに関する事項を理解できる。
- ②はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を聞き取ることができる。

(2) (思考・判断・表現)

- ①日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたまとまりのある文章の概要をとらえることができる。
- ②日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。
- ③日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。
- ④日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を書くことができる。

(3) (主体的に取り組む態度)

- ①外国語の背景にある文化に対する理解を深めることができる。
- ②話し手、聞き手、読み手に配慮しながら、主体的に英語で書かれたことを読み、英語を用いて伝え合い、英語を用いて書くことができる。

教材	教科書 NEW HORIZON English Course I (東京書籍) 副教材 ジョイフルワーク①(新学社)	持ち物	教科書 ジョイフルワーク① ファイル
学習の進め方			
<p>«授業»</p> <ul style="list-style-type: none"> ○積極的に挙手や発言をして、能動的に授業に参加しましょう。 ○間違えることを怖がらず、積極的に英語を使いましょう。 ○授業中、テストのヒントとなる情報がたくさんあるので、聞きもらさず、必ずメモを取ることをお勧めします。 ○学んだ表現をしっかりと覚えて、授業の中で文章として使えるようしていきましょう。 <p>«家庭学習»</p> <ul style="list-style-type: none"> ○復習として、単語プリントやジョイフルワークを使って、単語や表現を覚えましょう。小テストの準備を行っていきましょう。 <p>«定期テスト»</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教科書の内容を確実に確認し、ジョイフルワークの表現やピングの例文を覚えておきましょう。 ○授業中にメモを取っておくと、テスト前の学習にヒントとして役立ちます。 ○学んだ文法事項を使って、自分自身のことについて表現する練習をしましょう。 			
学習上の留意点			
<ul style="list-style-type: none"> ○相手の顔を見て、積極的に挨拶を交わしましょう。 ○英語でのペアワークやグループワークなどの活動に積極的に取り組みましょう。 ○ジョイフルワークやレポートなどの提出期限を必ず守りましょう。 ○授業以外の時間でも、間違いを恐れず積極的にALTに話しかけましょう。 			

☆学習内容及び評価について

学習計画	評価について
------	--------

月	単元計画	試験	評価観点	評価の場面・方法
4	Unit0 Nice to Meet You Unit1 Hello, Everyone!	I	○読み書きを練習している。 ○基本文の形、意味、用法に関する知識を身に着けている。	言語活動 定期テスト 単元テスト
5	Unit2 Our New Teacher Unit3 Our School		○場面や状況にふさわしい基本的用法を知っている。	言語活動
6	Unit4 Friends in New Zealand		○各単元にかかる文化や生活について理解している。	学習観察 言語活動
7	Unit5 My Brother in Hawaii "All about Me" Poster Sounds and Letters Real Life English		○英語を正確に読んだり、話したり、書いたりできている。	言語活動
8	Unit6 A Rakugo Performer from the U.K.		○正しい英語の発音や区切りを用いて話すことができている。	パフォーマンステスト
9	Unit7 An Online Tour of the U.K.		○スピーチの内容に気持ちを込めて発音できている。 ○基本的な英文を聞いたり、読んだりして内容を理解している。	パフォーマンステスト 定期テスト ワーク
10	Unit8 Think Globally, Act Locally		○まとめた文章を読んで場面の変化や登場人物の心情などを理解できる。	定期テスト ワーク 定期テスト 単元テスト
11	My Hero Sounds and Letters Real Life English		○自然な口調の基礎的な英語を聞き取ることができている。 ○自分の気持ちを伝えようとして文を用いている。	定期テスト ALTとの学習 レポート
12			○外國語の背景にある文化に対する理解を深めようとしている。 ○本文の内容に興味を持ち、情報を読み取ろうとしている。 ○相手の発話に興味を持ち、積極的に質問したり、答えたりしている。	レポート レポート レポート 言語活動
1	Unit9 Winter Vacation		○主体的に英語で書かれたことを読もうとしている。	定期テスト
2	Unit10 This Year's Memories My Favorite Event This Year		○主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。	単元テスト 言語活動
3	Let's Read		○主体的に英文を描こうとしている。	パフォーマンステスト 定期テスト 単元テスト